

Mizuho Daily Market Report

2023/5/4

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	135.81	134.71	▲1.84	+1.04
EUR	1.1034	1.1062	+0.0063	+0.0021
AUD	0.6661	0.6671	+0.0008	+0.0068
SGD	1.3331	1.3303	▲0.0044	▲0.0052
CNY	6.9181	6.9126	+0.0000	▲0.0154
MYR	4.4526	4.4552	▲0.0088	▲0.0023
THB	34.05	34.03	▲0.17	▲0.17
IDR	14692	14685	▲20	▲148
PHP	55.36	55.37	+0.01	▲0.27
INR	81.84	81.83	▲0.06	+0.06

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.336%	▲8.8 bp	▲11.3 bp
日本(10年)	0.421%	+0.0 bp	▲4.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.247%	▲1.1 bp	▲15.0 bp
オーストラリア(5年)	3.172%	▲5.9 bp	+13.8 bp
シンガポール(5年)	2.772%	▲7.6 bp	▲1.7 bp
中国(5年)	2.621%	+0.0 bp	▲2.2 bp
マレーシア(5年)	3.465%	+1.5 bp	+5.2 bp
タイ(5年)	2.132%	▲1.3 bp	+2.9 bp
インドネシア(5年)	6.238%	▲2.9 bp	▲3.9 bp
フィリピン(5年)	5.858%	▲2.3 bp	+1.4 bp
インド(5年)	6.944%	▲5.6 bp	▲4.6 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,414.24	▲0.8%	+0.3%
N225(日本)	29,157.95	+0.0%	+2.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,310.18	+0.4%	▲0.9%
ASX(オーストラリア)	4,244.29	+0.2%	▲0.6%
FTSTI(シンガポール)	3,262.01	▲0.6%	▲1.0%
SSEC(中国)	3,323.28	+0.0%	+1.8%
KLSE(マレーシア)	1,425.99	▲0.0%	+0.8%
SETI(タイ)	1,533.30	+0.3%	▲0.7%
JKSE(インドネシア)	6,812.722	▲0.7%	▲1.4%
PSE(フィリピン)	6,606.69	▲1.0%	+1.0%
SENSEX(インド)	61,193.30	▲0.3%	+1.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	256.56	▲1.6%	▲3.2%
金	2,038.97	+1.1%	+2.5%
原油(WTI)	68.60	▲4.3%	▲7.7%
銅	8,442.75	▲0.6%	▲1.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	134.00	—	136.50
EUR/USD	1.0960	—	1.1100
AUD/USD	0.6620	—	0.6700
USD/SGD	1.3280	—	1.3380
USD/CNY	6.9000	—	6.9300
USD/MYR	4.4350	—	4.4820
USD/THB	33.85	—	34.10
USD/IDR	14580	—	14750
USD/PHP	55.00	—	55.50
USD/INR	81.50	—	81.90

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は136円台半ばでオープン。前日NY時間の米金利低下を意識したドル売りが優勢となり下落。一時的に136円台を割り込むと下げ止まり。その後はNY時間にFOMC政策発表を控える中、136円ちょうどを中心にもみ合い。結局、136円台前半でアジア時間クロスとなった。

アジア通貨は概ね上昇。前日海外時間の米金利低下を受けドル売り基調となる中でアジア通貨は上昇も海外時間にFOMCを控える中、アジア時間における値幅は限定的となった。

海外市場のドル円は米金利低下や米地銀経営不安が長期化する懸念から、リスクオフの円買いが先行し、135円台半ばでNYオープン。NY時間朝方に発表された米4月ADP雇用統計は予想を上回り135円台後半まで上昇するも、すぐに反落。米4月ISM非製造業景況指数は予想を上回るものの、市場は反応薄。FOMCにおいては、予想通り25bp利上げが発表され、直後は米地銀問題が燃る中での利上げが嫌気されてか、134円台後半まで急落。しかし、その後米金利が持ち直すとして135円台後半まで反発。パウエルFRB議長の会見では、次回の金融政策で利上げ停止の可能性がある事を示唆した発言を受け、米金利が低下する中、ドル売りが強まり反落。終盤もじり安で推移し134円台後半でクロス。

【金利】

金利市場は大幅低下。中期ゾーンで特に下げてイールドカーブはスティープ化した。NY時間朝方は、FOMCを控え小動き。FOMCでは25bpの利上げが決定されるも、声明文において今後の利上げを示唆する文言が削除され、金利は急低下。しかし、パウエルFRB議長の会見で、今後については経済指標次第との発言があり、債券売りが強まった。引けにかけては、再度買い戻しが入り、結局前日終値比では大幅低下となった。

【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。注目のFOMCでは25bpの利上げが決定されたが、声明文やパウエルFRB議長の会見は今後の利上げ停止観測を強める内容だったと言えるだろう。本日についてもFOMC後のドル売りの流れが継続する展開を予想する。

【本日の予定】

(日本) 休場 みどりの日
(アジア) 3月 豪 貿易収支
(アジア) 4月 シンガポール PMI
(アジア) 4月 シンガポール 外貨準備高
(アジア) 4月 中国 CaixinPMIサービス業
(アジア) 4月 豪 サービス業PMI(確)
(欧州) 3月 ユーロ圏 PPI
(欧州) 3月 独 貿易収支
(欧州) 3月 英 消費者信用残高 / 住宅証券融資高 / 住宅ローン承認件数
(欧州) 4月 ユーロ圏 サービス業PMI(確)
(欧州) 4月 独 サービス業PMI(確)
(欧州) 4月 英 サービス業PMI(確)
(欧州) ECB政策理事会
(欧州) カルト ECB総裁会見
(米国) 3月 貿易収支
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。